

EXEO REPORT

2020年度(2021年3月期)

Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングを
すべての未来へ

EXEO

株式会社 協和エクシオ

証券コード:1951



ソリューションビジネスを加速させ、
「社会にとって価値のある企業集団」へ

代表取締役社長 船橋 哲也

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、亡くなられた方に謹んでお悔やみ申しあげますとともに、罹患されている皆様の一日も早い回復を心よりお祈りいたします。そして、刻々と状況が変化の中で、大変なご苦勞をされている世界各地の医療従事者の皆様に敬意を表するとともに、一日も早い収束を願っております。当社グループは引き続き社会情勢の変化を慎重に見極め、国内外を問わず従業員やその家族および関係者の生命の安全を第一に考えるとともに、アフターコロナを見据えてグループ一丸となって努力をしていきます。

さて、当社グループの2020年度(2021年3月期)連結業績の概要についてご報告申し上げます。

2020年度(2021年3月期)連結業績の概要

当連結会計年度(2020年4月1日~2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により当初景気が急速に悪化しましたが、段階的な経済活動の再開や政府・自治体の各種政策の効果により、夏以降緩やかながら持ち直しの動きが見られました。しかしながら、秋口から感染者数が再び増加に転じ、緊急事態宣言が再発令されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような社会情勢にあるものの、当社の事業領域である情報通信分野におきましては、モバイル事業において新たな通信キャリアが本格参入するとともに、各社の5G基地局整備計画が加速した

ほか、テレワーク等のニューノーマルな働き方の模索や企業のデジタルトランスフォーメーションの推進により、新たなIT投資が加速しております。また、建設分野におきましては、新型コロナウイルスの影響もあり民間設備投資は減少傾向にある一方、公共事業を中心とした政府建設投資は、国土強靱化やインフラの老朽化対策のため堅調に推移しております。

このような事業環境のなか、当社グループは、中期経営計画(2016~2020年度)の最終年度である2020年度、通信キャリア事業では、テレワークによる光回線需要の増加や地方部における高度無線環境整備推進事業によりアクセス分野の工事が堅調であるとともに、新たな通信キャリアの設備を含めた無線基地局工事の受注が好調に推移しました。都市インフラ事業とシステムソリューション事業では、大規模データセンター構築やGIGAスクール関連の大型案件を受注するなど順調に推移し、グローバル分野におきましても、各国のロックダウンにより建設分野は影響を受けたものの、新規事業へのチャレンジも推し進め、今後の成長に向けた事業基盤の確立に努めました。

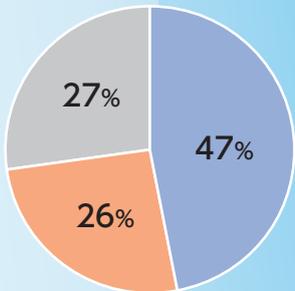
また、2018年に経営統合を行った西日本子会社とは、各事業分野において施工の相互支援を行うなど協力関係の強化に取り組むとともに、受注・工程管理システムの共同利用を開始するなど、シナジーの創出に尽力しました。

さらに、当社グループ内におきましても、新型コロナウイルス対策や働き方改革を推進し、本社オフィスの全面フリーアドレス化や、在宅勤務等にも対応できるセキュリティ強化や業務プロセス改革を行うなど、デジタルトランスフォーメーションを加速してまいりました。

2021年6月

2030ビジョン・中期経営計画（2021～2025）策定

当社グループを取り巻く環境が大きく変化している中で、2030年にグループとしての「ありたい姿」を描き、その実現と持続可能な成長を目指すために何をすべきか、バックキャストで具体的な戦略や目標を設定することを目的として、「2030ビジョン」及び「中期経営計画（2021～2025）」を策定しました。



中期経営計画（2021-25）

▶ 中期経営計画の目標

2025年度 業績目標	売上高 6,300 億円	営業利益 470 億円 (7.5%)	ROE 9.0%以上
----------------	-----------------	-----------------------	---------------

▶ セグメント別戦略

通信キャリア	5G展開への積極的取り組み/収益性・生産性向上
都市インフラ	新領域の開拓/建設DXの推進
システムソリューション	高付加価値事業への挑戦/リカーリングビジネス拡充

▶ ESG目標

	取組課題	関連するSDG
Environment (環境)	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーへのシフト 脱炭素、脱CO₂の取り組み 資源循環型社会への貢献 環境に優しいグリーン製品活用 	7, 9, 11, 12
Social (社会)	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会への貢献 事業の安全・品質の確保 ダイバーシティ&インクルージョンの推進 働き方改革の推進 	3, 4, 5, 8
Governance (ガバナンス)	<ul style="list-style-type: none"> 透明性の高いマネジメントの実現 コンプライアンスの徹底 リスクマネジメントの徹底 	10, 12, 16

経営基盤

安全・品質・BCP

- ☑ DX、AI、IoTなど技術の進化を活用
- ☑ 少子高齢化、自然災害など変化に対応
- ☑ 自らのアイデアで安全/品質向上を実現



くるりん波



エネコンポ



環境・エネルギー

- ☑ 環境関連事業への積極的貢献
- ☑ 再生可能エネルギー利用の促進
- ☑ 自社からのCO₂排出の抑制
- ☑ 省エネルギー活動の活性化



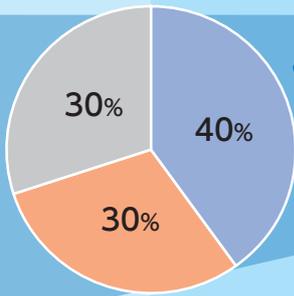
ZEB認定オフィス



太陽光発電



■ 通信キャリア ■ 都市インフラ ■ システムソリューション



2025年

価値創造による持続的成長へ 2030ビジョン



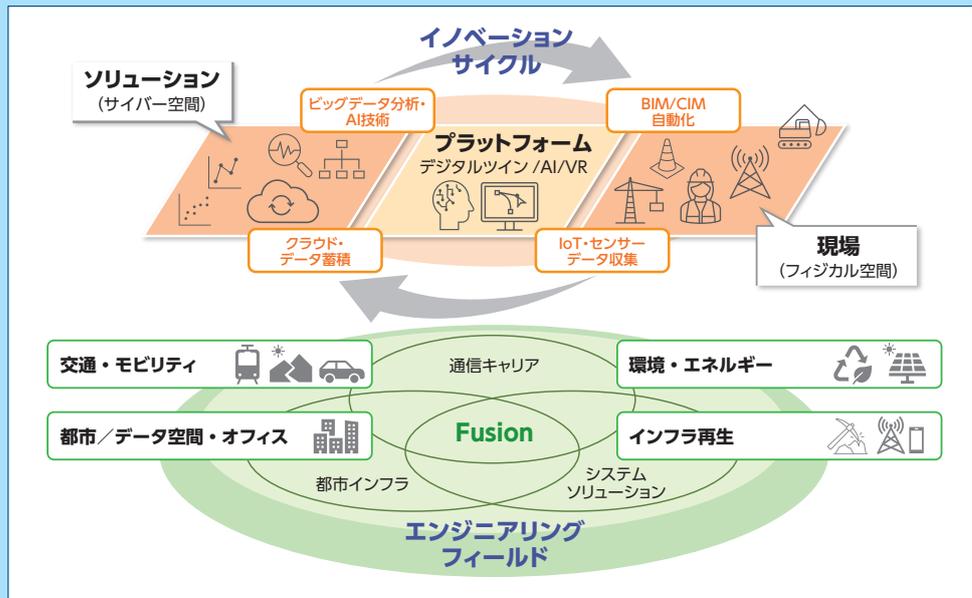
2030年

Engineering for Fusion

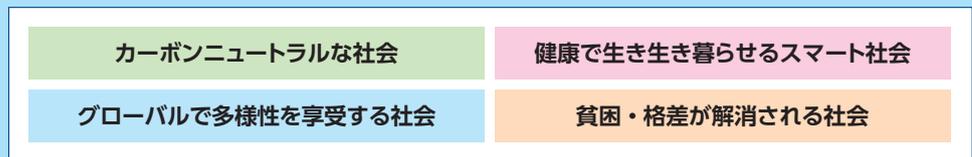
～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～

▶ エクシオグループの果たす役割

デジタルツインの実現によりイノベーションサイクルを循環させ、新しいエンジニアリングフィールドを広げていく。



▶ 2030年に目指す社会



EPS
280円以上

is項目

- 2 つくも責任 つかう責任
- 13 気候変動に 具体的な対策を
- 15 陸の豊かさも 守ろう

- 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
- 11 住み続けられる まちづくりを



人財戦略

- ☑ 事業環境変化への適応力強化
- ☑ 労働生産性の向上
- ☑ 多様な価値観を認めあう風土醸成
- ☑ ニューノーマル時代の働き方への対応



財務戦略

- ☑ 安定的な財務基盤の確保
- ☑ 成長のための積極的な投資
- ☑ 安定的かつ機動的な株主還元



グループ経営

- ☑ 柔軟かつ機動的なグループ運営の実現
- ☑ グループの強みを活かしたシナジーの発揮



DX推進

- ☑ デジタル化による経営基盤の強化
- ☑ ソリューションを通じた新たな価値の構築



/// エクシオグループ株式会社へ社名変更

当社は、グループ中核会社として、グループ会社とともに経営リソースと技術を結集して新たな価値を創造し大きく成長したいという思いを込めて、エクシオグループ株式会社（英語名：Exeo Group,Inc.）へと社名変更いたします。

これまでの通信キャリア事業、都市インフラ事業、システムソリューション事業を融合させ、グループ経営機能の強化とさらなるグループシナジーの創出を通じて新たな価値を創造し、持続可能なグローバル社会の実現に貢献することを目指します。

変更時期 2021年10月1日



/// 女性活躍推進に優れた企業として、令和2年度「準なでしこ」に選定

2021年3月22日、経済産業省と東京証券取引所が共同で女性活躍推進に優れた上場企業を選定する、令和2年度「準なでしこ」に選定されました。

2016年より組織活性化を目指した経営戦略としてダイバーシティ推進に取り組んできたことが評価され、昨年の「なでしこ銘柄」選定に続き、2年連続2度目の選定となります。

当社では、今後も女性の活躍にとどまらず、ジェンダー、信条、国籍、障がいの有無、性的指向等を問わず多様な価値観を認め合い、会社の持続的な成長のためにダイバーシティ&インクルージョンを含むESGの取り組みを強化してまいります。



/// 第58回技能五輪全国大会“情報ネットワーク施工”職種で「金」メダルを獲得

当社の海老原徹選手が金メダルを獲得し前回大会に続いて二連覇を達成しました。同全国大会における当社の金メダル獲得は2大会連続、通算で8回目となります。今回の金メダル獲得で、2022年に中国・上海で開催予定の「第46回技能五輪国際大会」情報ネットワーク施工職種における日本代表に選出され、当社として2大会ぶりの国際大会出場となります。

また、2021年4月7日に実施されたスピード競技の「World Optical Fiber Skills Challenge」においては、当社の水谷匠吾選手が海老原選手が出した世界記録を1秒更新し、みごと優勝しました。



海老原選手



水谷選手

/// 南関東支店 新社屋(ZEB認定)完成

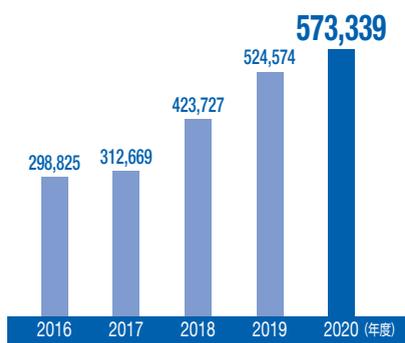
サステナブル・オフィスをコンセプトとした当社南関東支店の建替え工事が完成し、2021年3月22日より業務を開始しました。新社屋は、太陽光発電設備(50kW)の設置など環境に配慮した設備を積極的に導入しており、ZEB化 (Nearly ZEB) の基準を満たしています。オフィスは固定席型アクティビティ・ベースド・ワーキングを採用し、働き方の選択の自由度を高めるとともに、利便性とセキュリティを確保することで、従業員のエンゲージメントの持続に努めます。



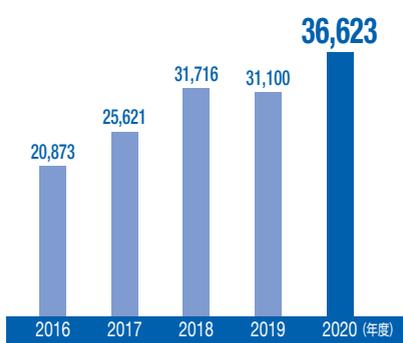
決算ハイライト

受注高	6,310 億円	前期比 113.4%
売上高	5,733 億円	前期比 109.3%
営業利益	366 億円	前期比 117.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	241 億円	前期比 155.0%

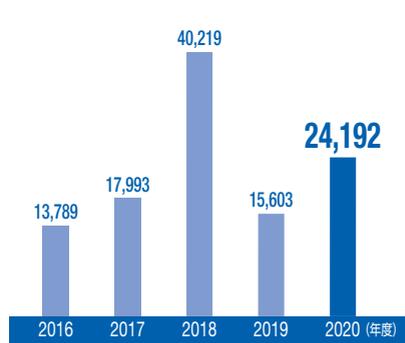
売上高 (百万円)



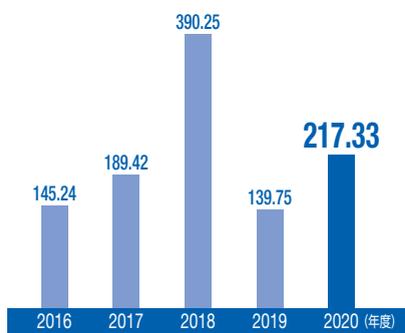
営業利益 (百万円)



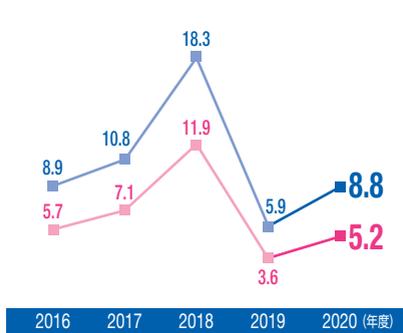
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



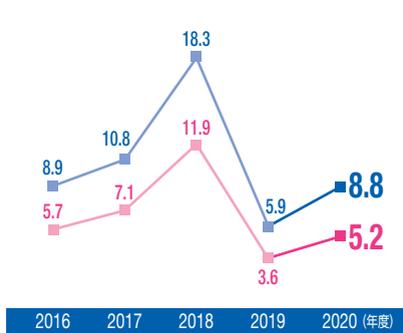
EPS (1株当たり当期純利益) (円)



ROE (%)



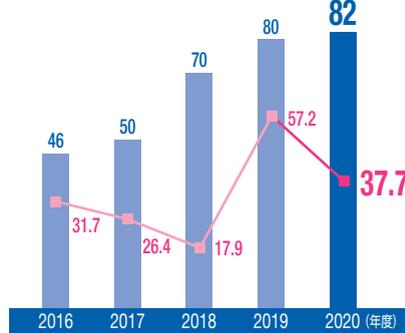
ROA (%)



配当金 (円)



配当性向 (%)



セグメント別状況

EXEO 協和エクシオグループ^注

受注高 4,226 億円 前期比 110.5%
売上高 3,769 億円 前期比 105.5%

C-CUBE シーキューブグループ

受注高 947 億円 前期比 127.0%
売上高 874 億円 前期比 120.6%



西部電気工業グループ

受注高 643 億円 前期比 107.7%
売上高 591 億円 前期比 104.5%



日本電通グループ

受注高 492 億円 前期比 124.9%
売上高 498 億円 前期比 130.6%

注 セグメント別状況における協和エクシオグループには、シーキューブグループ、西部電気工業グループ、日本電通グループは含んでおりません。

会社概要

会社概要 (2021年3月31日現在)

商号 株式会社 協和エクシオ
KYOWA EXEO CORPORATION
設立 1954年(昭和29年)5月17日
資本金 68億8千8百万円
従業員数 連結 14,374名/単独 4,134名
本社 東京都渋谷区渋谷三丁目29番20号
西日本本社 大阪府大阪市中央区内本町二丁目2番10号
事業所 支店: 13 営業所: 20

役員 (2021年6月23日現在)

代表取締役社長	船橋 哲也	取締役	小原 靖史
取締役常務執行役員	黒澤 友博	取締役	岩崎 尚子
取締役常務執行役員	光山 由一	取締役	望月 達史
取締役常務執行役員	樋口 秀男	取締役	吉田 佳司
取締役常務執行役員	三野 耕一	常勤監査役	作山 裕樹
取締役常務執行役員	浅野 健志	常勤監査役	諏訪部正人
取締役常務執行役員	坂口隆富美	監査役	荒牧 知子
		監査役	山田真之助
		監査役	高橋貴美子

株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式総数 117,812,419株
株主数 22,969名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	13,000	11.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,641	9.56
協和エクシオ従業員持株会	4,221	3.79
住友生命保険相互会社	2,296	2.06
住友不動産株式会社	2,081	1.87
株式会社日本カストディ銀行・三井住友信託退給口	1,834	1.65
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,600	1.44
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・住友電気工業株式会社退職給付信託口)	1,500	1.35
GOVERNMENT OF NORWAY	1,497	1.35
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	1,459	1.31

(注) 当社は、自己株式を6,501千株保有しておりますが、上記の表には含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063
<郵便物送付先> 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

<電話照会先> ☎ 0120-782-031

<インターネットホームページURL> <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

電子公告 (<https://www.exeo.co.jp>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された**1,000株以上保有**の株主様を対象にクオカードを贈呈いたします。

株主優待 ●保有継続期間3年未満: 1,000円相当
●保有継続期間3年以上: 2,000円相当

※保有継続期間の認定は、3月末日を基準とさせていただきます。
※発送時期は、毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬とさせていただきます。

単元(100株)未滿株式の買取・買増請求のご案内について

単元未滿株式につきましては、市場で売買することができませんが、次のいずれかを利用して整理していただくことができます。

【単元未滿株式の買取請求】

当社に対して、ご所有の単元未滿株式の市場価格による買取を請求することができます。

【単元未滿株式の買増請求】

当社に対して、単元株式に不足する株式数の市場価格による買増しを請求し、ご所有の単元未滿株式と合わせて100株にすることができます。

単元未滿株式買取・買増請求の手続につきましては、下記の電話照会先にお問い合わせください。

☎ 0120-782-031